

ご利用の際は、岡山県子ども・福祉部 障害福祉課又は岡山県医療的ケア児支援センターへご相談ください。

医療的ケア児に関する調査 報告書

令和6年9月

岡山県子ども・福祉部 障害福祉課

保健医療部 医療推進課

岡山県医療的ケア児支援センター

医療的ケア児に関する調査について（概要）

1 調査の目的

医療の進歩を背景として、人工呼吸器や胃瘻等を使用し、痰の吸引や経管栄養等の医療的ケアが日常的に必要な障害児（以下「医療的ケア児」という）が増加していると考えられている。平成30年度から県内における医療的ケア児の現状を把握し、今後必要とされる支援について検討する資料とするために、調査を行っている。

2 調査の対象

県内病院（159 施設）及び県内在宅療養支援診療所（296 施設：R5.5.22 現在）
隣県（兵庫県、鳥取県、広島県）7 病院

3 調査の方法

- ・調査票を郵送配布（郵送回収）
- ・23 項目の在宅療養指導管理料（※）を令和6年5月に算定している満20歳未満平成16（2004）年6月以降に出生）の児
- ・回答数 全体 87.0%
（県内病院 86.2%、在宅療養支援診療所 87.8%、県外病院 71.4%）

（※）在宅療養指導管理料

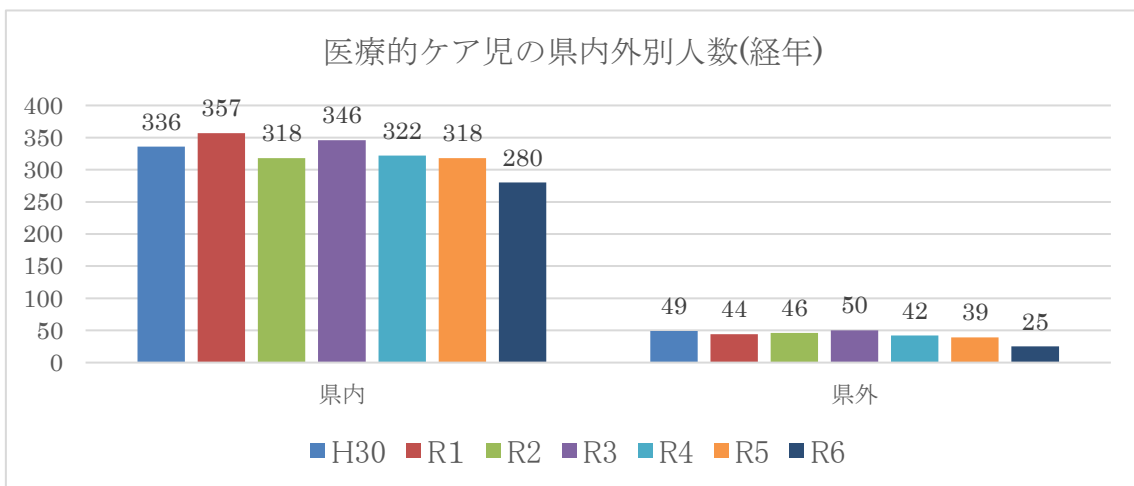
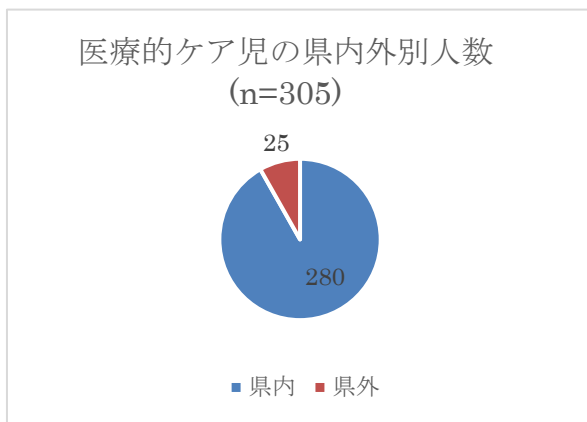
- | | | |
|---|-------------------------|--------|
| ① | 在宅自己腹膜灌流指導管理料 | C102 |
| ② | 在宅血液透析指導管理料 | C102-2 |
| ③ | 在宅酸素療法指導管理料 | C103 |
| ④ | 在宅中心静脈栄養法指導管理料 | C104 |
| ⑤ | 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料 | C105 |
| ⑥ | 在宅小児経管栄養法指導管理料 | C105-2 |
| ⑦ | 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料 | C105-3 |
| ⑧ | 在宅自己導尿指導管理料 | C106 |
| ⑨ | 在宅人工呼吸指導管理料 | C107 |
| ⑩ | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 | C107-2 |
| ⑪ | 在宅悪性腫瘍等患者指導管理料 | C108 |
| ⑫ | 在宅寝たきり患者処置指導管理料 | C109 |
| ⑬ | 在宅自己疼痛管理指導管理料 | C110 |
| ⑭ | 在宅振戦等刺激装置治療指導管理料 | C110-2 |
| ⑮ | 在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料 | C110-3 |
| ⑯ | 在宅仙骨神経刺激法指導管理料 | C110-4 |
| ⑰ | 在宅肺高血圧症患者指導管理料 | C111 |
| ⑱ | 在宅気管切開患者指導管理料 | C112 |
| ⑲ | 在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料 | C114 |
| ⑳ | 在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料 | C116 |
| ㉑ | 在宅経腸投薬指導管理料 | C117 |
| ㉒ | 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料 | C118 |
| ㉓ | 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料 | |

4 調査の期間

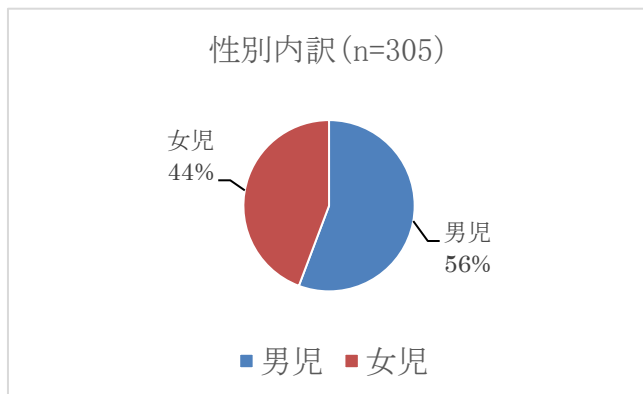
令和6年6月1日～7月10日

■ 1 医療的ケアが必要な児の状況

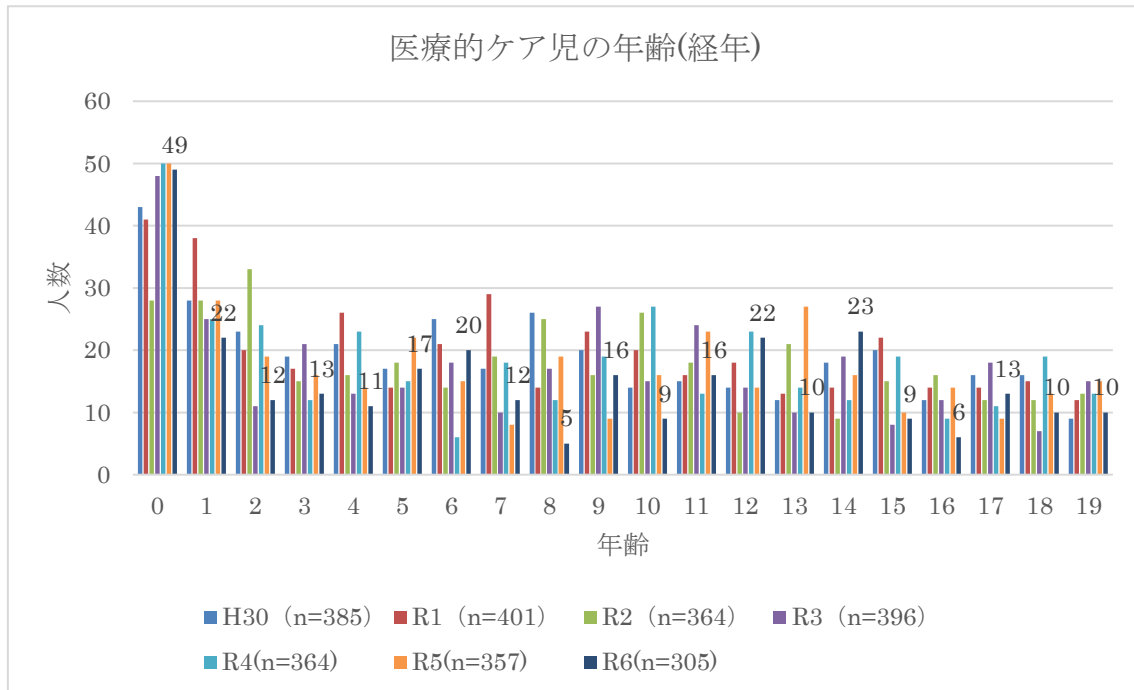
○ 県内外の医療機関を受診している医療的ケア児の人数は、305 人であった。そのうち、岡山県内に居住する児は、280 人（92%）であった。



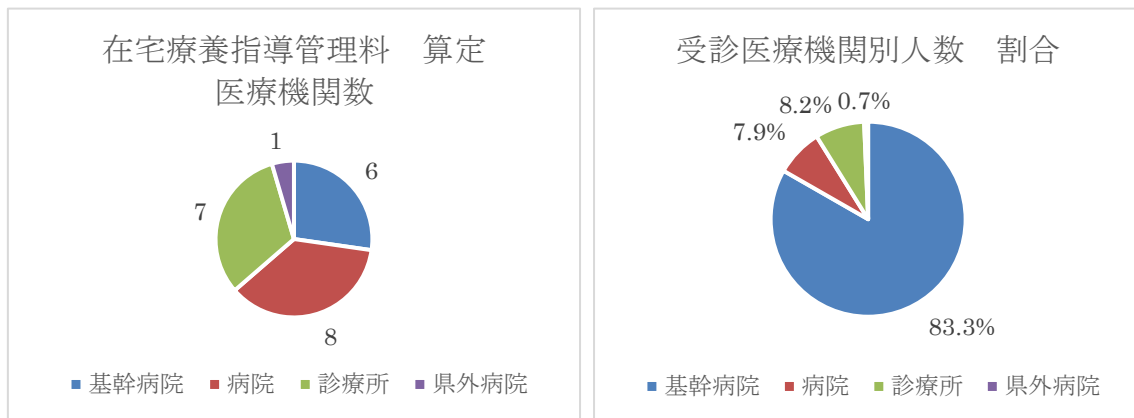
○ 医療的ケア児の性別は、男児が 170 人、女児が 135 人であった。



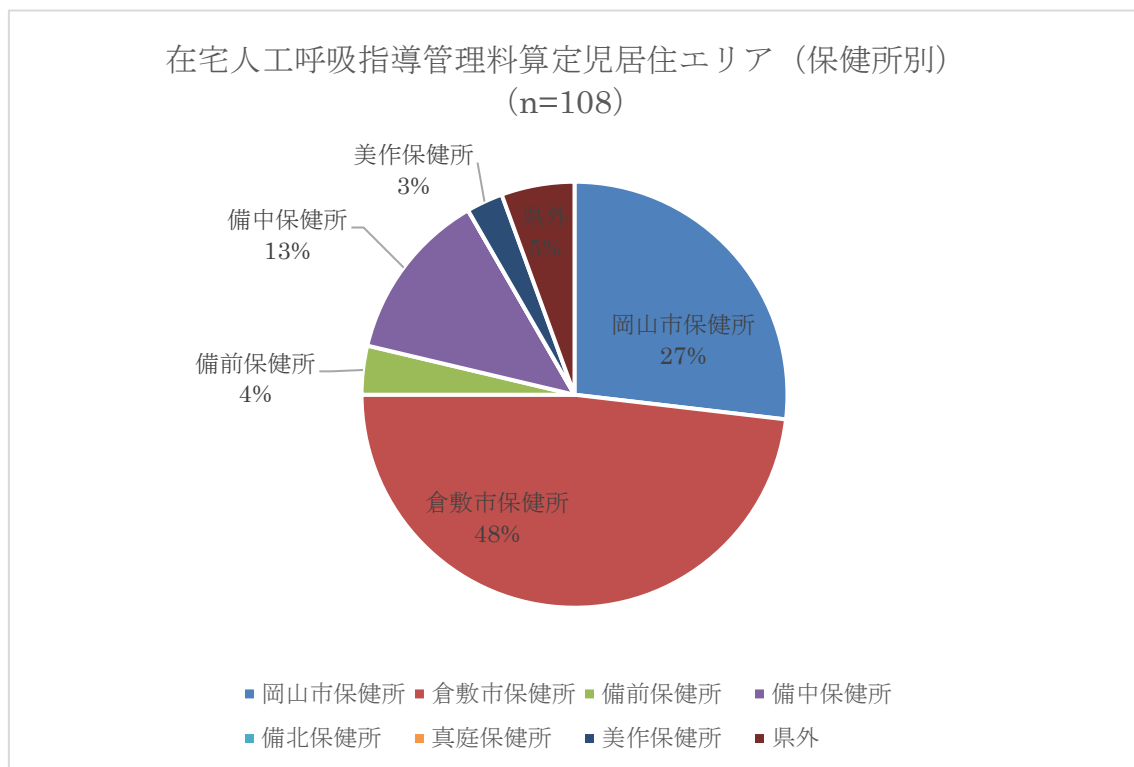
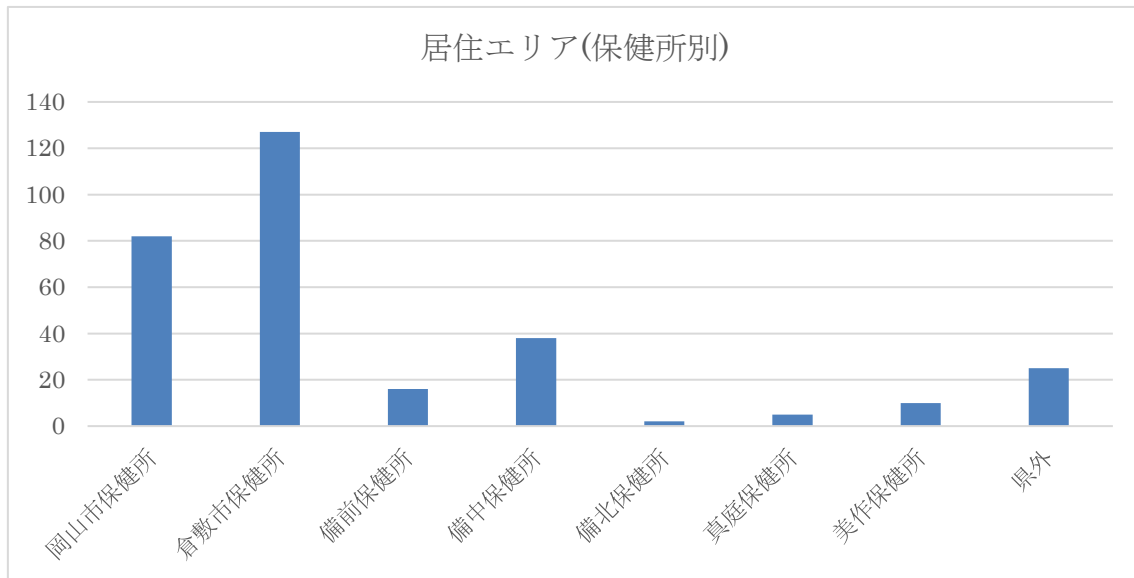
- 医療的ケア児の年齢は、0 歳児が 49 人と一番多く、58%が 10 歳未満児であった。



- 医療的ケア児が医療機関を受診し、在宅療養指導管理料を算定しているのは県内 14 病院 278 人 (91.2%)、7 診療所 25 人 (8.2%)、県外 1 病院 2 人 (0.7%) であった。



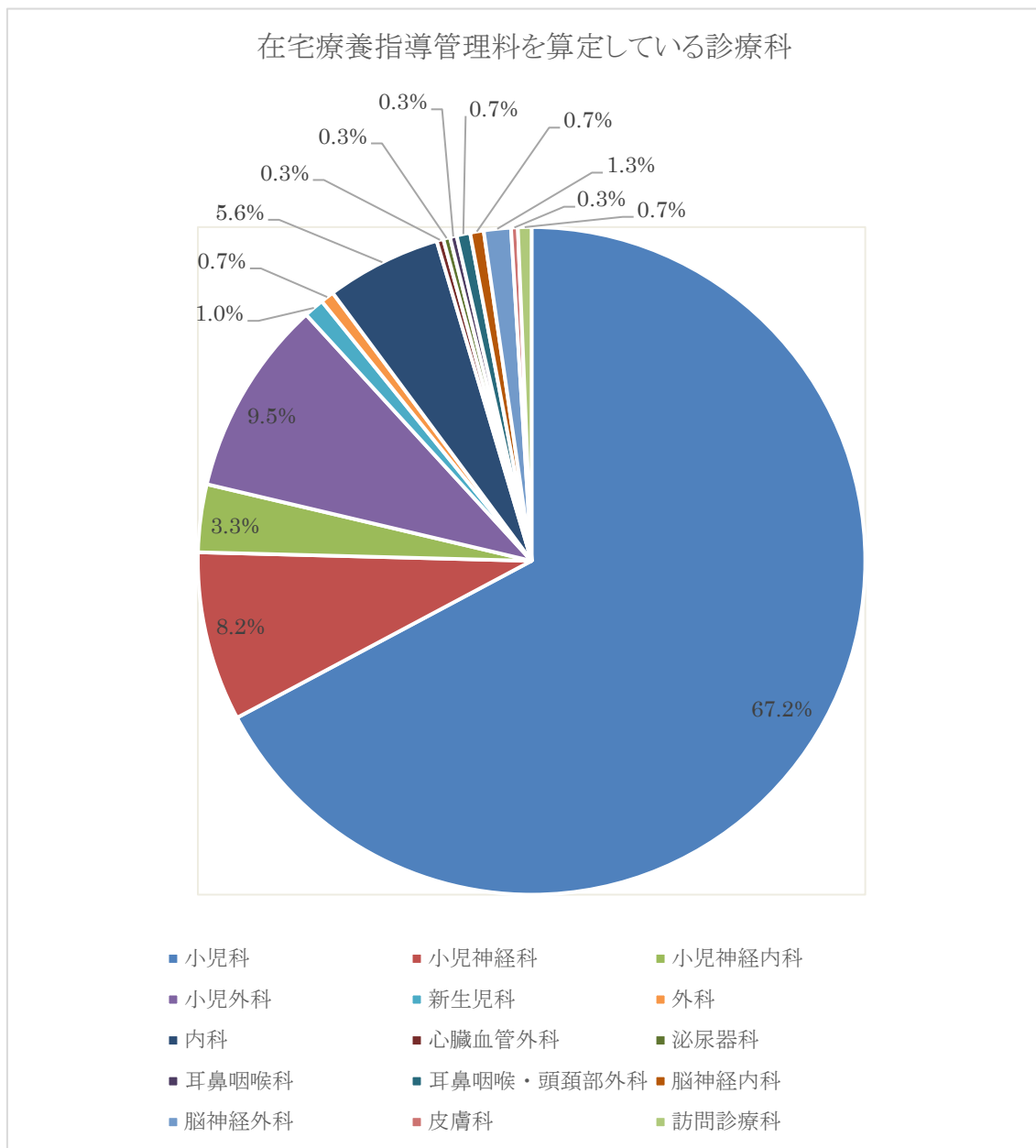
○ 医療的ケア児の居住地は、岡山市保健所管内と倉敷市保健所管内が多く、合わせると6割以上であった。県外から受診している児は、隣県の広島県が多く、中国地方や四国地方、関西地方等から受診があった。



医療的ケア児の保健所別
人数分布 (n=305)



○ 在宅療養指導管理料を算定している診療科は、6割以上が小児科であった。



○ 在宅療養指導管理料を算定し得る指導管理状況は、[C103 在宅酸素療法指導管理料] が一番多く 165 人、次いで [C107 在宅人工呼吸指導管理料] が 108 人であった。

在宅療養指導管理料		人数
C102	在宅自己腹膜灌流指導管理料	2
C102-2	在宅血液透析指導管理料	1
C103	在宅酸素療法指導管理料	165
C104	在宅中心静脈栄養法指導管理料	1
C105	在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	7
C105-2	在宅小児経管栄養法指導管理料	102
C105-3	在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料	1
C106	在宅自己導尿指導管理料	27
C107	在宅人工呼吸指導管理料	108
C107-2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料	3
C108	在宅悪性腫瘍等患者指導管理料	0
C109	在宅寝たきり患者処置指導管理料	30
C110	在宅自己疼痛管理指導管理料	0
C110-2	在宅振戦等刺激装置治療指導管理料	3
C110-3	在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料	0
C110-4	在宅仙骨神経刺激法指導管理料	0
C111	在宅肺高血圧症患者指導管理料	0
C112	在宅気管切開患者指導管理料	52
C114	在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料	1
C116	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	0
C117	在宅経腸栄養投薬指導管理料	0
C118	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	0
C119	在宅経肛門自己洗腸指導管理料	0

実際に算定した在宅医療指導管理料のみを回答した医療機関を含む。

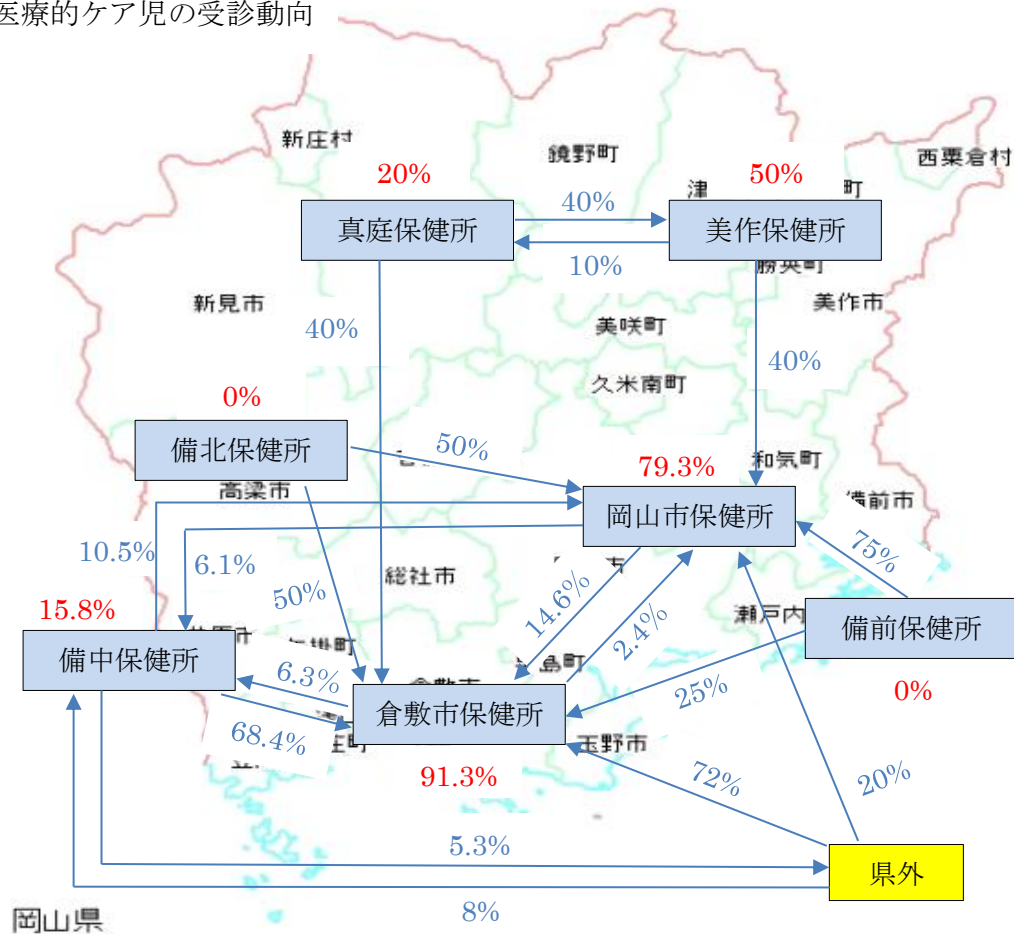
○ 在宅療養指導管理料に加算している内容は、[C158 酸素濃縮装置] が一番多く 194 人、次いで [C157 酸素ボンベ] が 168 人であった。

算定している加算		人数
C157	酸素ボンベ	168
C158	酸素濃縮装置	194
C159	液化酸素装置	0
C169	気管切開患者用人工鼻	68
C162	在宅経管栄養法用栄養管セット	121
C161	注入ポンプ	21
C160	静脈栄養法輸液セット	1
C163	特殊カテーテル	30
C153	注入器用注射針	2
C150	血糖自己測定器	1

○ 在宅療養指導管理料を算定している児は、居住地を所管する保健所管内の医療機関を受診している児がいる一方、管外の医療機関を受診している児もいた。

また、全医療的ケア児 305 人を 100% とすると、居住する保健所管内で医療機関を受診して在宅療養指導管理料を算定している児は、63.3% であり、岡山市保健所管内、倉敷保健所管内の医療機関で 8 割以上が算定されていた。

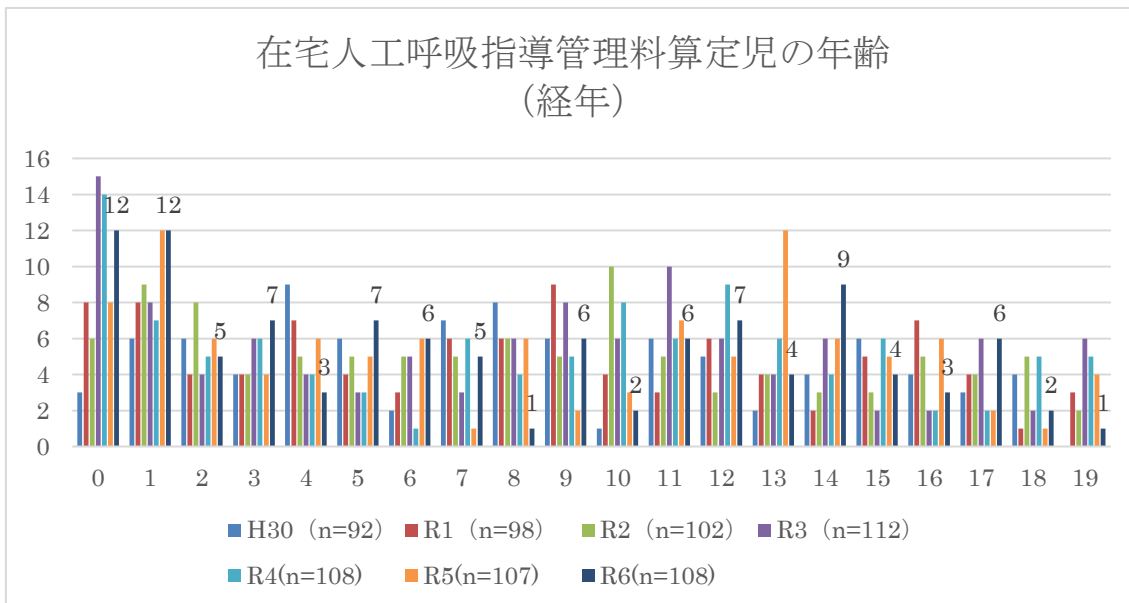
医療的ケア児の受診動向



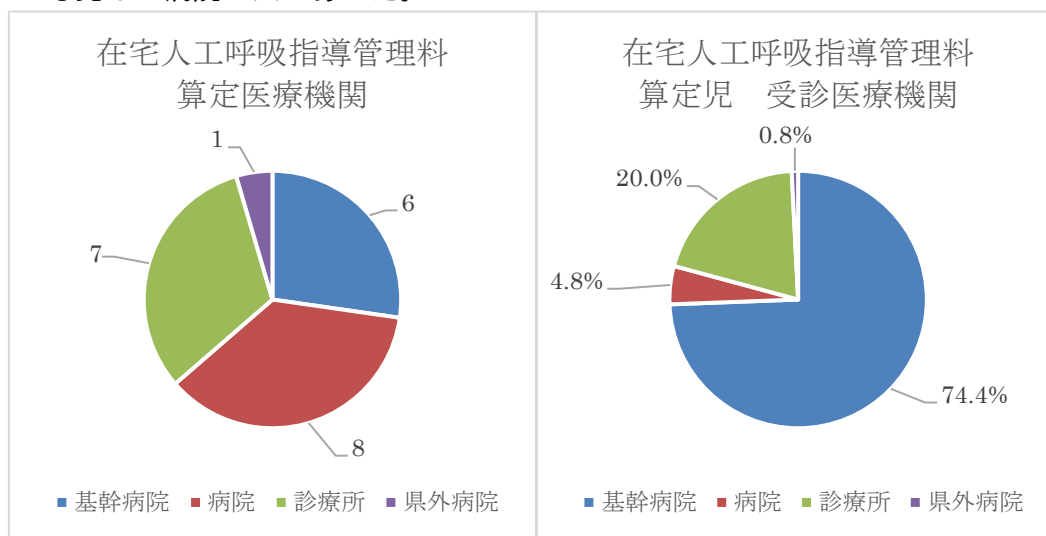
※各保健所管内に居住する児数全体を 100% として、同保健所管内で医療機関を受診して在宅療養指導管理料を算定する児の割合を赤字、管外の医療機関を受診して算定する児の割合を青字で表記している。

■ 2 在宅人工呼吸指導管理料を算定している児の状況

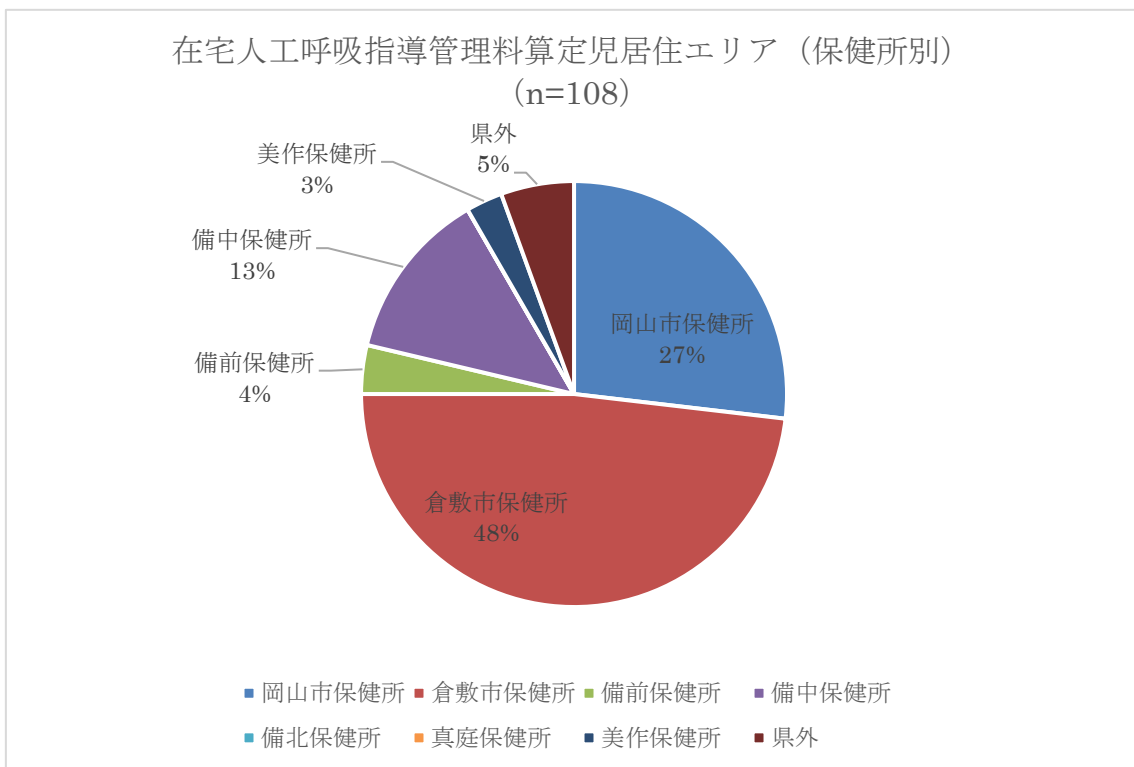
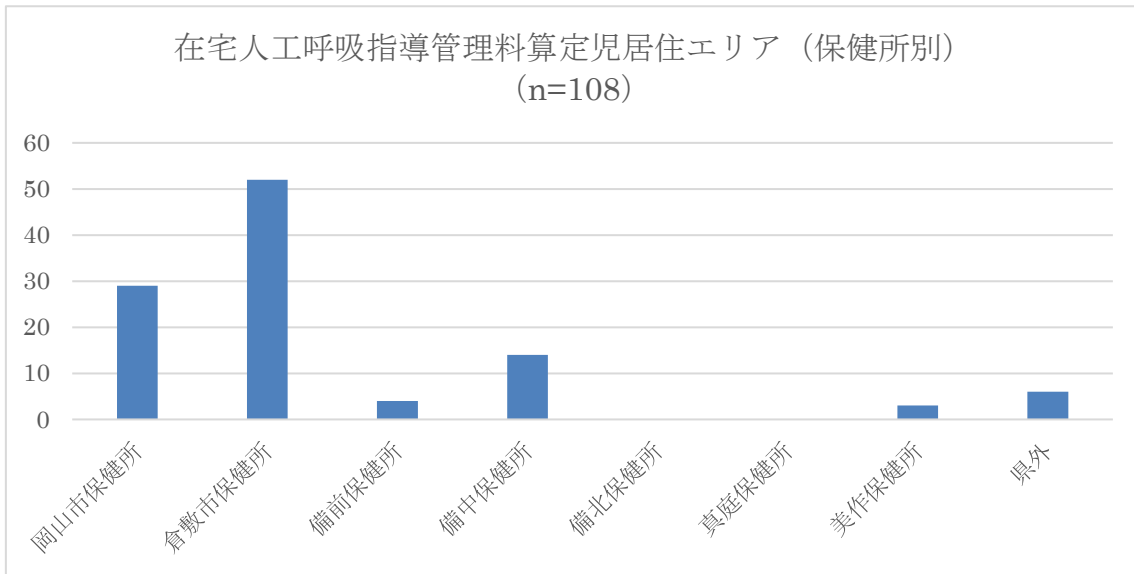
○ 在宅人工呼吸指導管理料を算定している児は、108 人（35.4%）であり、そのうち県内に居住している児は 102 人であった。県内外 108 人中 10 歳未満の児は 59.2%であった。



○ 在宅人工呼吸指導管理料を算定している県内外の医療機関は 15 病院 100 人（92.6%）、7 診療所 25 人（23.1%）であった。そのうち、県外の医療機関を受診している児は 1 病院 1 人であった。



○ 在宅人工呼吸指導管理料を算定している児の居住地は、岡山市保健所管内と倉敷市保健所管内が多く、7割以上であった。



在宅人工呼吸指導管理料算
定児の保健所別人数分布
(n=108)



○ 在宅人工呼吸指導管理料を算定している児は、居住地を所管する保健所管内の医療機関を受診している児がいる一方、管外の医療機関を受診している児もいた。
 また、在宅人工呼吸指導管理料を算定している全児 108 人を 100% とすると、居住地を所管する保健所管内の医療機関を受診している児は、68.5% であった。

在宅人工呼吸指導管理料
算定児の受診動向



※各保健所管内に居住する児数全体を 100% として、同保健所管内で医療機関を受診して在宅療養指導管理料を算定する児の割合を赤字、管外の医療機関を受診して算定する児の割合を青字で表記している。